

自己評価書

- 自己評価は全部で100項目あります。
- これらの項目は事業所が地域密着型サービスとして目標とされる実践がなされているかを具体的に確認するものです。そして改善に向けた具体的な課題を事業所が出し、改善への取組を行っていくための指針とします。
- 項目一つひとつを職員全員で点検していく過程が重要です。点検は、項目の最初から順番に行う必要はありません。点検しやすい項目（例えば、下記項目のⅡやⅢ等）から始めてください。
- 自己評価は、外部評価の資料となります。外部評価が事業所の実践を十分に反映したものになるよう、自己評価は事実に基づいて具体的に記入しましょう。
- グループホームの自己評価は、各ユニットごとに行います。
- 自己評価結果は、外部評価結果とともに公開されます。家族や地域の人々に事業所の日ごろの実践や改善への取組を示し、信頼を高める機会として活かしましょう。

地域密着型サービスの自己評価項目構成

	項目数
I. 理念に基づく運営	22
1. 理念の共有	3
2. 地域との支え合い	3
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	5
4. 理念を実践するための体制	7
5. 人材の育成と支援	4
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	10
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	4
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	6
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	17
1. 一人ひとりの把握	3
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	3
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	10
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	38
1. その人らしい暮らしの支援	30
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	8
V. サービスの成果に関する項目	13
合計	100

○記入方法

[取組の事実]

ケアサービスの提供状況や事業所の取組状況を具体的かつ客観的に記入します。
(実施できているか、実施できていないかにかかわらず事実を記入)

[取り組んでいきたい項目]

今後、改善したり、さらに工夫を重ねたいと考えた項目に○を付けます。

[取り組んでいきたい内容]

「取り組んでいきたい項目」で○をつけた項目について、改善目標や取組内容を記入します。また、既に改善に取り組んでいる内容・事実があれば、それを含めて記入します。

[特に力を入れている点・アピールしたい点] (アウトカム項目の後にある欄です)

日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入します。

○用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家族 = 家族に限定しています。

運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。

チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

○評価シートの説明

評価調査票は、プロセス評価の項目(No.1からNo.87)とサービスの成果(アウトカム)の項目(No.88からNo.100)の2種類のシートに分かれています。記入する際は、2種類とも必ず記入するようにご注意ください。

事業所名	グループホーム 十符の里
(ユニット名)	1丁目
所在地 (県・市町村名)	宮城県宮城郡利府町菅谷台4-2-13
記入者名 (管理者)	佐藤 崇史
記入日	H20年 1月 10日

地域密着型サービス評価の自己評価書

(部分は外部評価との共通評価項目です)

取り組んでいきたい項目

項目		取組の事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営				
1. 理念と共有				
1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくり上げている	地域密着の為の行動指針を管理者会議にて検討。地域の生活環境(公園、商店、町内会)の利用を掲げ、朝礼時に唱和している。		行動指針である生活環境(公園、商店、町内会)の利用を積極的に実施。行動指針を朝礼時に唱和。
2	○理念の共有と日々の取組 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	朝礼時に理念の唱和を実施。理念にある「家庭的で暖かみのある生活」を提供できるよう常にケアプラン等への反映を検討、実施している。		朝礼時に理念の唱和。家庭的なサービスを提供できるよう利用者への接遇やケアプランとそのケアにも反映している。
3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	施設見学会の実施。町内会への加入、行事等への参加。運営推進会議への出席の促しを行っている。		施設見学会の実施。町内会への加入、行事等への参加。運営推進会議への出席の促しを行っている。
2. 地域との支えあい				
4	○隣近所との付き合い 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的な付き合いができるように努めている	地域密着の為の行動指針を管理者会議にて検討。全職員が近隣の方と笑顔で挨拶を行うよう徹底されている。朝礼にて行動指針を唱和している。		全職員が近隣の方と笑顔で挨拶を行うよう徹底されている。朝礼にて行動指針を唱和。
5	○地域との付き合い 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	防災訓練、夏祭り等の行事へ積極的に参加している。		防災訓練、夏祭り等の行事へ積極的に参加されている。

項目		取組の事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	施設見学会にて介護相談を実施。そのほかにも他事業所の紹介等も行っている。		施設見学会の実施。町内会への加入、行事等への参加。運営推進会議への出席の促しを行っている。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価と外部評価の結果を踏まえ、改善に取り組むようミーティングにて話し合いが持たれている。		自己評価と外部評価の結果を踏まえ、改善に取り組むようミーティングにて話し合いが持たれている。
8	○運営推進会議を活かした取組 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	サービスの提供状況、事故報告、苦情報告などを行い、情報を公開することにより出席者からの意見を伺い、改善に努めている。		サービスの提供状況、事故報告、苦情報告などを行い、情報を公開することにより出席者からの意見を伺い、改善に努めている。
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	入居率がおもわしくない為、市町村に協力して頂けるよう最低月に2回ほど相談に伺っている。その他、苦情や事故の報告にも随時、訪問している。		入居率がおもわしくない為、市町村に協力して頂けるよう最低月に2回ほど相談に伺っている。その他、苦情や事故の報告にも随時、訪問している。
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	管理者のみ地域包括支援センターの職員に説明を受け、資料を頂いている。その他の職員については地域福祉権利擁護事業、成年後見制度などについて学ぶ機会を設けていない。	○	施設内で勉強会等を設け、職員全員が学ぶ機会を設けていきたい。
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	県より送付された資料については職員全員が目を通しているがそれ以外に学ぶ機会は設けられていない。過密な労働が利用者への虐待に繋がらないよう勤務状態に配慮している。全職員が虐待防止の意識は高い為、注意し合える環境になっている。	○	施設内で勉強会等を設け、職員全員が学ぶ機会を設けていきたい。全職員が虐待防止の正しい認識をもつことにより、今後も徹底した虐待の防止に取り組んでいきたい。

項目	取組の事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	文書に沿って理解して頂けるよう分かりやすく説明を行っている。	文章に沿って理解して頂けるよう分かりやすく説明を行っている。
13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員及び外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	苦情相談窓口を重要事項説明書に明記。苦情あった際に速やかに市町村へ報告行っている。自社、市町村を含め苦情解決に取り組んでいる。しかしながら第三者苦情相談窓口は設けていない。	○ 11月の運営推進会議にて参加されていた民生委員の方が任期を終えた為、第三者苦情相談窓口の依頼を行う予定である。第三者を置くことにより、広い視野で解決に取り組んでいきたい。
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	金銭管理については毎月、書面にて郵送。利用者家族の方は毎月面会にいらっしゃるので、その際に近況の報告を行っている。体調不良時は随時、電話連絡を行っている。2ヶ月に一度、利用者の暮らしぶりを載せた新聞を郵送している。	金銭管理については毎月、書面にて郵送。利用者家族の方は毎月面会にいらっしゃるので、その際に近況の報告を行っている。体調不良時は随時、電話連絡を行っている。2ヶ月に一度、利用者の暮らしぶりを載せた新聞を郵送している。
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員及び外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会議にて苦情等を表せる機会を設けている。それ以外は常時対応となっている。	○ 運営推進会議にて苦情申し立ての機会を設けているが、それ以外は設けていない。苦情等の意見が言い易いように苦情BOX等の設置を検討したい。
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聴く機会を設け、反映させている	月に1回の施設ミーティングでの職員の意見を管理者が、運営陣も出席する管理者会議にて報告し検討・反映させている。	月に1回の施設ミーティングでの職員の意見を管理者が、運営陣も出席する管理者会議にて報告し検討・反映させている。
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	ご家族への説明が十分にできるよう勤務変更や休憩時間の変更を臨機応変に行っている。	ご家族への説明が十分にできるよう勤務変更や休憩時間の変更を臨機応変に行っている。
18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者がなじみの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	退職や離職が多く会社内の異動が多々見られる。	○ 職員が安心して働いていけるよう就労条件や環境を見直すよう運営陣に働き掛けていく。

項目	取組の事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援			
19	<p>○職員を育てる取組</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画を立て、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>管理者研修及び業務フロー研修を開催・実施している。県で開催している研修にも積極的に参加している。</p>	<p>管理者研修及び業務フロー研修を開催・実施している。県で開催している研修にも積極的に参加している。</p>
20	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組をしている</p>	<p>営業活動を通して1ヶ月に1回は周辺の施設と対話する機会を設けている。施設見学にいらして頂くように働きかけも行っている。</p>	<p>営業活動を通して1ヶ月に1回は周辺の施設と対話する機会を設けている。施設見学にいらして頂くように働きかけも行っている。</p>
21	<p>○職員のストレス軽減に向けた取組</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	<p>1年に2回ほど運営陣による全職員の面接を行っており、職員の不満や希望、疑問に応えられるよう配慮している。しかし、人事異動が多い為に、職員のストレスも多く抱えられている。</p>	<p>○</p> <p>1年に2回ほどの運営陣による全職員の面接を継続して実施し、職員の不満や希望、疑問に答えるよう配慮する。人員配置を整え、職員の異動を最小限に留められるよう運営陣に働きかけていく。</p>
22	<p>○向上心を持って働き続けるための取組</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>	<p>職員の資格取得状況を常時、把握し報奨と手当の支給を行っている。</p>	<p>職員の資格取得状況を常時、把握し報奨と手当の支給を行っている。</p>
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている</p>	<p>ご本人が納得して頂けるよう、何度でも足を運んで頂けるようお話している。それ以外にも随時、電話にてご相談に乗る事を説明している。</p>	<p>ご本人が納得して頂けるよう、何度でも足を運んで頂けるようお話している。それ以外にも随時、電話にてご相談に乗る事を説明している。</p>
24	<p>○初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている</p>	<p>ご家族が納得して頂けるよう、何度でも足を運んで頂けるようお話している。それ以外にも随時、電話にてご相談に乗る事を説明している。</p>	<p>ご家族が納得して頂けるよう、何度でも足を運んで頂けるようお話している。それ以外にも随時、電話にてご相談に乗る事を説明している。</p>

項目		取組の事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	相談の際にご本人・ご家族の状況を把握し他事業所のサービスの紹介と連絡も行っている。		相談の際にご本人・ご家族の状況を把握し他事業所のサービスの紹介と連絡も行っている。
26	○なじみながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気になじみながら徐々になじめるよう家族等と相談しながら工夫している	本人・家族に確認した上で、日中に他利用者の方と食事を共にして頂くことにより体験する機会を設けている。何度でも見学に来ていただくように働きかけている。		本人・家族に確認した上で、日中に他利用者の方と食事を共にして頂くことにより体験する機会をもお受けている。何度でも見学に来ていただくように働きかけている。
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支え合う関係を築いている	利用者の方と共に生活リハビリに取り組み、食事やリハ、行事などを共に楽しんでいる。利用者から生活の知恵、戦時中の歴史背景などを学ぶことも多い。		利用者の方と共に生活リハビリに取り組み、食事やリハ、行事などを共に楽しんでいる。利用者から生活の知恵、戦時中の歴史背景などを学ぶことも多い。
28	○本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	運営推進会議や行事への参加協力をお願いしている。運営に関わる助言や行事などアイデアなどを頂き、利用者の生活の質の向上に協力して頂いている。しかしながら家族会は重要な報告がある時のみ行っており、定期的に開催されていない。	○	利用者家族の方は働いている方が多い為、ご家族の都合を考慮した上で定期的な家族会の開催を検討していきたい。今後も積極的に行事等へのご家族の参加を働きかけていく。
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	行事や面会に気軽に来て頂けるよう働きかけている。本人・ご家族だけで穏やかに過ごして頂けるようプライベート環境の提供とお茶等の提供を行っている。面会時間は特に設けておらず、本人の体調が良ければ外出・外泊も気軽に行えるようになっている。		行事や面会に気軽に来て頂けるよう働きかけている。本人・ご家族だけで穏やかに過ごして頂けるようプライベート環境の提供とお茶等の提供を行っている。面会時間は特に設けておらず、本人の体調が良ければ外出・外泊も気軽に行えるようになっている。
30	○なじみの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきたなじみの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご家族の了承も得ながら、本人の希望に合わせハガキの代筆、電話連絡を行っている。		ご家族の了承も得ながら、本人の希望に合わせハガキの代筆、電話連絡を行っている。
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士がかかわり合い、支え合えるように努めている	レクリエーションや生活リハビリなどを通して利用者同士協力して行えるよう環境づくりをしている。		レクリエーションや生活リハビリなどを通して利用者同士協力して行えるよう環境づくりをしている。

項目		取組の事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
32	○関係を断ち切らない取組 サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らない付き合いを大切にしている	本人・ご家族の相談や他のサービスの紹介、連絡を行っている。		本人・ご家族の相談や他のサービスの紹介、連絡を行っている。
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	聞き取りや日頃の行動観察から本人のニーズを把握するよう努力し、ケアプラン作成・実施に努めている。		聞き取りや本人のニーズを把握するよう努力しケアプラン作成・実施に努めている。
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴やなじみの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入所時に生活歴や生活環境の調査を行っている。日々の生活の中から得られる情報、面会時にご家族から得られる情報を記録している。毎月、施設介護経過を記録し、これまでの生活で変化等が見られないか確認を行っている。		入所時に生活歴や生活環境の調査を行っている。日々の生活の中から得られる情報、面会時にご家族から得られる情報を記録している。毎月、施設介護経過を記録し、これまでの生活で変化等が見られないか確認を行っている。
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	日頃の観察は勿論、申し送りや記録から利用者の日々の状態を把握。毎月のミーティングにて利用者の状態を職員全員で討議し、より良い生活が送れるように検討している。		利用者の観察に努め、申し送りや記録にて全職員が状態を把握できるよう努めている。毎月のミーティングにてケース会議を行っている。
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアの在り方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	アセスメントの実施。本人・家族の希望と職員、主治医等関係職種に意見を伺い、それを元にケアプラン原案を作成し確認を行っている。		アセスメントの実施。本人・家族の希望と職員、主治医等関係職種に意見を伺い、それを元にケアプラン原案を作成し確認を行っている。
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	状況の変化を職員・関係職種で話し合い、本人やご家族に報告。それに対してのご意見を伺った上で新たなケアプラン案を作成し了承を頂いている。		状況の変化を職員・関係職種で話し合い、本人やご家族に報告。それに対してのご意見を伺った上で新たなケアプラン案を作成し了承を頂いている。

項目		取組の事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気付きや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	毎日の記録にケアプランの実施とその状況について記入している。モニタリング・評価の際、ミーティングなどに参考にし経過の把握に努めている。		毎日の記録にケアプランの実施とその状況について記入している。モニタリング・評価の際、ミーティングなどに参考にし経過の把握に努めている。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	本人や家族の希望に応じて可能な限り代行のサービスを実施している。自施設では難しい事に関しては他事業所等の紹介や連絡を行っている。		本人や家族の希望に応じて可能な限り代行のサービスを実施している。自施設では難しい事に関しては他事業所等の紹介や連絡を行っている。
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	町内会に加入し、行事等へ参加している。消防署に協力して頂きながら防災訓練の実施を行っている。必要に応じてボランティアの要請も行っている。		町内会に加入し、行事等へ参加している。消防署に協力して頂きながら防災訓練の実施を行っている。必要に応じてボランティアの要請も行っている。
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	本人・家族の希望に応じて他事業所・他ケアマネージャーに連絡や日程の調整を行っている。		本人・家族の希望に応じて他事業所・他ケアマネージャーに連絡や日程の調整を行っている。
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	後見人制度など地域包括支援センターに説明や資料を頂くなどして協力を仰いでいる。		後見人制度など地域包括支援センターに説明や資料を頂くなどして協力を仰いでいる。
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人・家族の希望に沿うよう他医療機関受診の為に主治医と相談、必要に応じて紹介状を書いて頂くようお願いしている。		本人・家族の希望に沿うよう他医療機関受診の為に主治医と相談、必要に応じて紹介状を書いて頂くようお願いしている。

項目	取組の事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
<p>44</p> <p>○認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>	<p>必要に応じて主治医より紹介して頂き専門医の受診を行っている為、常時相談にのって頂く環境が整っていない。</p>		<p>受診以外にもホームの認知症相談にのって頂けるよう、受診時に医師に相談していく。</p>
<p>45</p> <p>○看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>	<p>提携の訪問看護ステーションはあるものの現在、利用していない為利用者の状況が多少分かるのは主治医の病院の看護師のみである。健康管理等相談は医師に行っている。</p>	○	<p>当ホームの利用料が高いとおっしゃられるご家族が多い為に、医療連携加算は負担が大きいとの事。利用も限られる為、今後も主治医へ相談していく。その他にも主治医の病院の看護師にも意見を頂けるよう主治医と相談を行っている。</p>
<p>46</p> <p>○早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>	<p>入院時は最低でも週に1回は職員が面会に行き、医師や看護師に病状等を確認している。また、個人情報の関係で情報を得られない場合にはご家族に確認して頂き、情報を得ている。</p>		<p>入院時は最低でも週に1回は職員が面会に行き、医師や看護師に病状等を確認している。また、個人情報の関係で情報を得られない場合にはご家族に確認して頂き、情報を得ている。</p>
<p>47</p> <p>○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期の在り方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>主治医を交えて、本人の状態と今後の方針について説明を行っている。他医療機関や他施設の紹介と連絡も行っている。</p>		<p>主治医を交えて、本人の状態と今後の方針について説明を行っている。他医療機関や他施設の紹介と連絡も行っている。</p>
<p>48</p> <p>○重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>	<p>当社の方針にて看取りは行っていない為、入所前にその事を十分に説明し、状況に合わせて他医療機関や他施設の紹介と連絡を行っている。</p>		<p>入所前に看取りを行っていない事を十分に説明。終末期に向けての他医療機関や他施設の紹介や連絡を継続して行っていく。</p>
<p>49</p> <p>○住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>	<p>転居先へ慣れて頂くように何度か足を運んで頂くよう本人・家族・ケア関係者に説明。その際にサマリーだけの情報交換以外に口頭でも説明を十分に行うように努めている。</p>		<p>転居先に慣れて頂くよう何度か足を運んで頂くよう本人・家族・ケア関係者に説明。その際にサマリーだけの情報交換以外に口頭でも説明を十分に行うように努めている。</p>

項目	取組の事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
50	<p>○プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉掛けや対応、記録等の個人情報の取扱いをしていない</p>		<p>利用者の尊厳を守るよう職員一同、丁寧に対応させて頂いている。</p>
51	<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや希望を表せるように働き掛けたり、分かる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>		<p>ひとりひとりに合わせて分かりやすいよう声掛けを行っている。自分の意思をうまく伝えられない方に関しては、観察から何を言おうとしているのか汲み取るよう努力し職員間で検討も行っている。</p>
52	<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望に沿って支援している</p>		<p>利用者のペースに合わせて、ゆったりと過ごして頂けるよう職員も慌ただしくないようケアにあたっている。</p>
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p>		<p>希望があった際には可能な限り、職員が付き添いを行っている。場所が分からない等の問題がある際は、御家族に付き添いをお願いしている。</p>
54	<p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている</p>		<p>利用者の希望あった際、食事やおやつの変更などを随時行っている。利用者ひとりひとりの力に応じて食事の準備や片付けを手伝って頂いている。</p>
55	<p>○本人のし好の支援</p> <p>本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのもを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p>		<p>疾患や内服薬等に注意し、本人の希望があれば提供。たばこについては、火事の危険性から職員管理し希望時に提供、見守りという体制になっている。</p>

項目		取組の事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
56	○気持ちよい排せつの支援 排せつの失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排せつのパターン、習慣を活かして気持ちよく排せつできるよう支援している	現在、おむつ使用者はおらず。なるべくおむつは使用せず、トイレへの誘導等を行う事により排泄習慣が身に付くようにケアにあたっている。排泄時間を記録する事により排泄パターンの把握にも努めている。		なるべくおむつは使用せず、トイレ誘導にて排泄習慣が身に付くようにケアする事、排泄時間の記録により排せつパターンの把握も継続して行う。
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	利用者の希望に合わせて随時、入浴を行っている。		利用者の希望に合わせて随時、入浴を行っている。
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	利用者の状態に合わせて、眠れる時間に休んで頂くよう対応している。休まれている利用者への配慮としてテレビの音を小さくする、照明をあまりつけないなどを行っている。		利用者の状態に合わせて、眠れる時間に休んで頂くよう対応している。休まれている利用者への配慮としてテレビの音を小さくする照明をあまりつけないなどを行っている。
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	利用者の体調を見ながら、生活リハビリや趣味の活動、散歩、ドライブ等、やりがいや楽しみを見出せるよう支援している。		利用者の体調を見ながら、生活リハビリや趣味の活動、散歩、ドライブ等、やりがいや楽しみを見出せるよう支援している。
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	本人・ご家族了承の上で自己責任で本人管理して頂いている。自己管理が難しい方や大きな金額については金庫にて管理し、金銭預かり証を発行している。希望時にお渡し、買い物付き添いを行っている。		本人・ご家族了承の上で自己責任で本人管理して頂いている。自己管理が難しい方や大きな金額については金庫にて管理し、金銭預かり証を発行している。希望時にお渡し、買い物付き添いを行っている。
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望に沿って、戸外に出掛けられるよう支援している	天候によるが、買い物や散歩、ドライブには積極的に出かけている。利用者の希望に合わせて可能な限り、外出を行っている。		天候によるが、買い物や散歩、ドライブには積極的に出かけている。利用者の希望に合わせて可能な限り、外出を行っている。
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出掛けられる機会をつくり、支援している	行事などで職員を多く配置し、外出を行う事もある。その他、御家族に外出に連れ出して頂くよう働きかけている。	○	行事では今まで以上に、御家族に参加して頂き協力してもらうことで、より利用者の希望に沿った外出ができるように働きかけていきたい。

項目		取組の事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	利用者の希望に合わせて電話等を利用して頂けるようになってきている。自力では難しい方には代行して電話、手紙の代筆を行っている。		利用者の希望に合わせて電話等を利用して頂けるようになってきている。自力では難しい方には代行して電話、手紙の代筆を行っている。
64	○家族やなじみの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人のなじみの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	全職員が明るく笑顔でお客様をお迎えしている。プライベートな空間とお茶を常時、提供し穏やかに過ごされるよう支援している。		全職員が明るく笑顔でお客様をお迎えしている。プライベートな空間とお茶を常時、提供し穏やかに過ごされるよう支援している。
(4)安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及びすべての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	全職員が身体拘束を行わないという意思統一は図られている。しかしながら、全職員が詳しく身体拘束禁止内容に理解しているわけではない。		今後、勉強会を開催し、全職員が正しい知識をより詳しく理解できるように取り組んでいく。
66	○鍵を掛けないケアの実践 運営者及びすべての職員が、居室や日中玄関に鍵を掛けることの弊害を理解しており、鍵を掛けないケアに取り組んでいる	日中はなるべく鍵をかけないよう努めているが、建物の造りの問題で玄関がダイヤルロックとなっている。扉が重い為、手動も難しい。		建物の造りで問題がある個所は開錠が難しい為、現状を維持。その他は利用者の離棟などに注意を払いながら鍵をかけないケアを継続していく。
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	トイレや排泄は可能な限り同性で見守りを行っている。転倒などの危険性が少ない方はトイレの外で待機し、見守りを行っている。入浴も自力で入浴できる方は、すぐそばの脱衣所にて待機し何度か様子を確認し安全性に配慮している。		トイレや排泄は可能な限り同性で見守りを行っている。転倒などの危険性が少ない方はトイレの外で待機し、見守りを行っている。入浴も自力で入浴できる方は、すぐそばの脱衣所にて待機し何度か様子を確認し安全性に配慮している。
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取組をしている	利用者の状態に応じて、縫物に必要な針やハサミなど職員預かりにしている。自己管理できる方には持って頂いている。		針やハサミなどの危険物は利用者の状態に応じて自己管理か職員管理かを検討している。
69	○事故防止のための取組 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	月に一回のミーティングの際に、勉強会を実施し、緊急時に備えている。		月に一回のミーティングの際に、勉強会を実施し、緊急時に備えている。

項目		取組の事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、すべての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	年に1.2回実施。勉強会の際に、実演を交えて取り組んでいる。		年に1.2回実施。勉強会の際に実演を交えて取り組んでいる。
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身に付け、日ごろから地域の人々の協力を得られるよう働き掛けている	施設内消防訓練の他にも町内会の防災訓練にも参加し、地域の協力が得られている。		施設内消防訓練の他にも町内会の防災訓練にも参加し、地域の協力が得られている。
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	利用者の状態に応じて転倒や誤嚥の危険性などをお話し、今後の対応や方針を検討している。		利用者の状態に応じて転倒や誤嚥の危険性などをお話し、今後の対応や方針を検討している。
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	毎日のバイタル測定、記録により常時、体調の変化に気を配っている。変化見られた際には主治医と相談の上、受診等々を検討している。		毎日のバイタル測定、記録により常時、体調の変化に気を配っている。変化見られた際には主治医と相談の上、受診等々を検討している。
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	処方箋、薬剤辞書で常に新しく処方された薬の作用、副作用などを把握し対応に努めている。		処方箋、薬剤辞書で常に新しく処方された薬の作用、副作用などを把握し対応に努めている。
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働き掛け等に取り組んでいる	常に排泄チェックを行い、便秘等の状態を把握。水分を多めに、運動量を増やす等の働きかけを行っている。下剤内服しての便の状態や薬の効く時間などの情報の収集にも努めている。		常に排泄チェックを行い、便秘等の状態を把握。水分を多めに、運動量を増やす等の働きかけを行っている。下剤内服しての便の状態や薬の効く時間などの情報の収集にも努めている。
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れやにおいが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後、口腔ケアの実施と歯磨きの促しを行っている。週に一回、歯科衛生士による口腔指導を行って頂いている。2週間に一回、歯科医師の往診も行って頂いている。		毎食後、口腔ケアの実施と歯磨きの促しを行っている。週に一回、歯科衛生士による口腔指導を行って頂いている。2週間に一回、歯科医師の往診も行って頂いている。

項目		取組の事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養士が作成した献立に合わせ、食事を提供している。食事量、水分量は常時記録し把握している。		栄養士が作成した献立に合わせ、食事を提供している。食事量、水分量は常時記録し把握している。
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	マニュアルを作成し、発生時に対応に努めている。予防として冬季は面会者にもうがい、手洗いを行っていただいている。職員、利用者は外出から戻った際には手洗い、うがいをしている。		マニュアルを作成し、発生時の対応に努めている。予防として冬季は面会者にうがい、手洗いを行って頂いている。職員、利用者は外出から戻った際には手洗い、うがいをしている。
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	常に使用した調理器具などの消毒に努めている。食材は業者に前日に届けて頂いている。		常に使用した調理器具などの消毒に努めている。食材は業者に前日に届けて頂いている。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関の飾り付け、プランターを置くなど気軽に訪問して頂けるように努めている。		玄関の飾り付け、プランターを置くなど気軽に訪問して頂けるよう努めている。
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	天窓からフロアに適度に光が差し込むよう、造りに工夫している。眩しすぎないようブラインドも設置されている。		天窓からフロアに適度に光が差し込むよう、造りに工夫している。眩しすぎないようブラインドも設置されている。
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	談話室や談話フロアを設け、利用者が過ごしやすいよう配慮している。		談話室や談話フロアを設け、利用者が過ごしやすいよう配慮している。

項目		取組の事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	使い慣れた家具等を持ち込んで頂くようお話しているが、元から家具が設置されている為、家庭的な雰囲気作りが難しい。	○	家庭的な環境作りの意図をお伝えし、今まで以上に使い慣れた品を持ってきて頂けるよう働きかけていく。
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のおよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	毎朝の掃除の際に換気の実施を行い、その日の気温に応じて温度調節を行っている。		毎朝の掃除の際に換気の実施を行い、その日の気温に応じて温度調節を行っている。
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	建物内部全てバリアフリーとなっている。安全かつ自力で行えるよう施設の造りだけではなく見守り、介助でも配慮している。		建物内部全てバリアフリーとなっている。安全かつ自力で行えるよう施設の造りだけではなく見守り、介助でも配慮している。
86	○分かる力を活かした環境づくり 一人ひとりの分かる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	日々の生活の中からその利用者が何ができるのかを見つけ、出来る事から職員と共に取り組んでいる。利用者ひとりひとりに合わせて、理解しやすいように説明を行い混乱等なく快適に過ごせるよう援助している。		日々の生活の中からその利用者が何ができるのかを見つけ、出来る事から職員と共に取り組んでいる。利用者ひとりひとりに合わせて、理解しやすいように説明を行い混乱等なく快適に過ごせるよう援助している。
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	ベランダより畑に出れるようになっており、その畑で野菜を育てたりしている。育てた野菜を食事に生かし、ベランダで食事を摂ることもある。		ベランダより畑に出れるようになっており、その畑で野菜を育てたりしている。育てた野菜を食事に生かし、ベランダで食事をとる事もある。

V. サービスの成果に関する項目			
項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向をつかんでいる	<input type="radio"/>	①ほぼすべての利用者の
			②利用者の2/3くらいの
			③利用者の1/3くらいの
			④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<input type="radio"/>	①毎日ある
			②数日に1回程度ある
			③たまにある
			④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<input type="radio"/>	①ほぼすべての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	<input type="radio"/>	①ほぼすべての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出掛けている	<input type="radio"/>	①ほぼすべての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	<input type="radio"/>	①ほぼすべての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らさせている	<input type="radio"/>	①ほぼすべての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	<input type="radio"/>	①ほぼすべての家族と
			②家族の2/3くらいと
			③家族の1/3くらいと
			④ほとんどできていない

項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
96	通いの場やグループホームになじみの人や地域の人々が訪ねて来ている		①ほぼ毎日のように
			②数日に1回程度
		○	③たまに
			④ほとんどない
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている
			②少しずつ増えている
			③あまり増えていない
			④全くない
98	職員は、生き活きと働けている	○	①ほぼすべての職員が
			②職員の2/3くらいが
			③職員の1/3くらいが
			④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼすべての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼすべての家族等が
			②家族等の2/3くらいが
			③家族等の1/3くらいが
			④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

利用者、職員が協力して季節の野菜を育て、毎日の食事に取り入れている。それを通じて喜びや充実感が得られるよう援助している。